

平成30年度 決算報告

一般会計【歳出】

性質別みると、人件費はケーブルテレビ特別会計が廃止され、職員給等を一般会計予算で計上したことなどにより、前年度比3,624万5千円の増額となりました。扶助費は、子ども医療費助成の対象年齢の拡充による増額、子どもインフルエンザ予防接種費助成事業の対象者の拡充により増額した一方で、臨時福祉給付事業の終了などにより997万2千円の減額となりました。公債費は、年間地方債発行額を制限していることから、6,797万9千円の減額となりました。

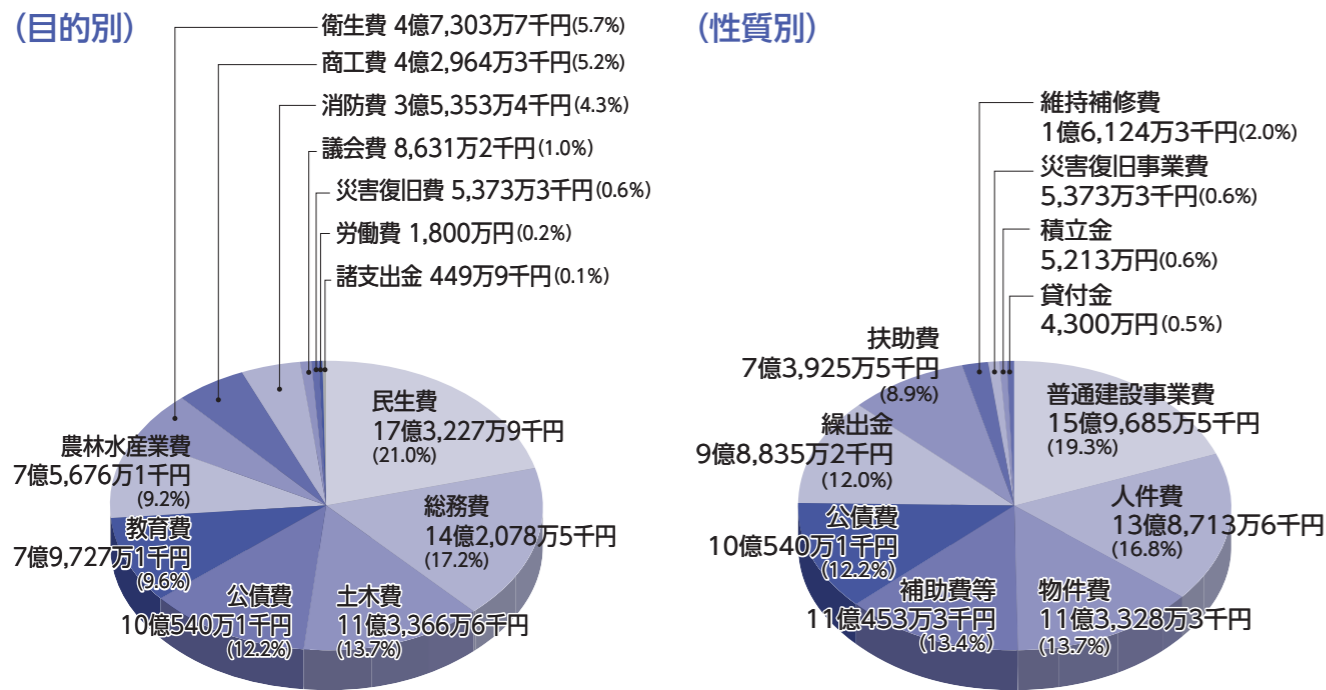
普通建設事業費は、地域優良賃貸住宅の整備事業（南条第2保育所跡地活用）や今庄住民センターの整備事業などの大型事業を実施しましたが、昭和会館耐震改修事業、河野小学校放射線防護対策事業が前年度に終了したことにより、3億6,289万7千円の減額となりました。

積立金は、地域密着型介護施設整備事業に伴う貸付金の返還開始により返還分を基金に積み立てたことなどにより、4,332万8千円の増額となりました。

物件費は、未評価家屋調査経費の減少、臨時職員数の減少などにより、4,112万7千円の減額となりました。

補助費等は、南越清掃組合負担金の減少や水道事業会計の経営改善により一般会計からの補助金が減少したことなどにより、938万8千円の減額となりました。

一般会計 歳出 **82億6,492万1千円**



特別会計

| 会計名 | 歳入決算額 | 歳出決算額 |
|-------------|--------------|--------------|
| 国民健康保険 | 11億1,457万3千円 | 10億9,518万8千円 |
| 国民健康保険今庄診療所 | 2億4,610万9千円 | 2億4,532万1千円 |
| 河野診療所 | 1億1,170万7千円 | 1億1,078万1千円 |
| 個別排水処理施設 | 1,169万2千円 | 1,158万4千円 |
| 農業者労働災害共済 | 134万2千円 | 69万5千円 |
| 後期高齢者医療 | 1億4,542万9千円 | 1億4,526万3千円 |
| 農業集落排水 | 3億4,384万5千円 | 3億4,362万円 |
| 老人保健施設 | 1億7,183万2千円 | 1億7,087万円 |
| 介護保険 | 13億9,299万7千円 | 13億7,500万9千円 |
| 下水道 | 2億3,214万2千円 | 2億3,193万3千円 |

企業会計 水道事業

| 収益的収支 (水道料金等 での収支) | 収入額 | 支出額 |
|--------------------------|-------------|-------------|
| | 3億9,809万8千円 | 3億9,742万5千円 |
| 資本的収支 (企業債償 還金支出) | 収入額 | 支出額 |
| | — | 1億4,924万8千円 |

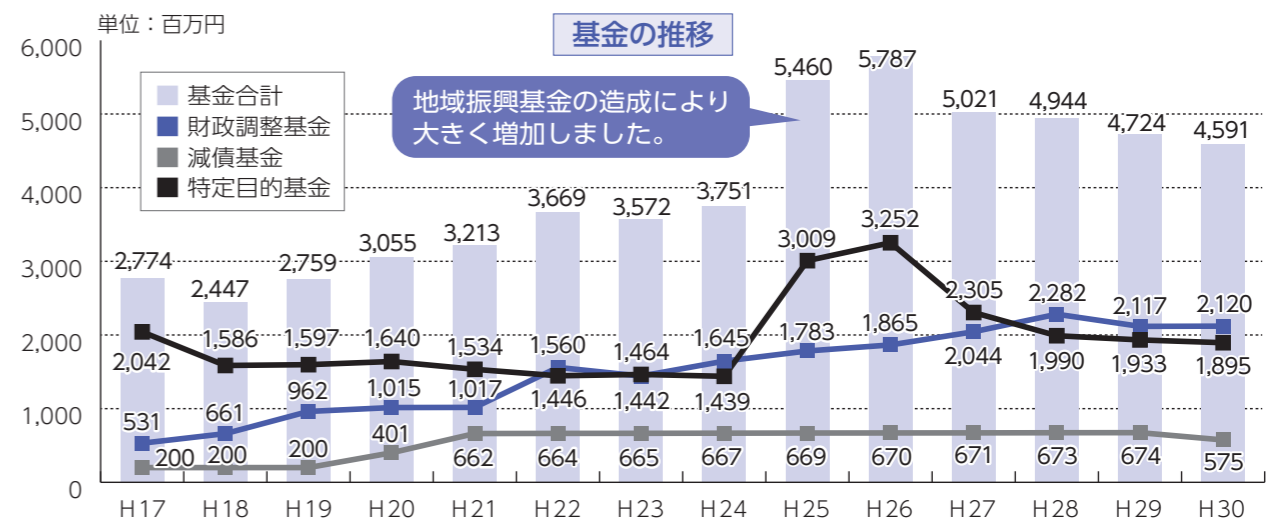
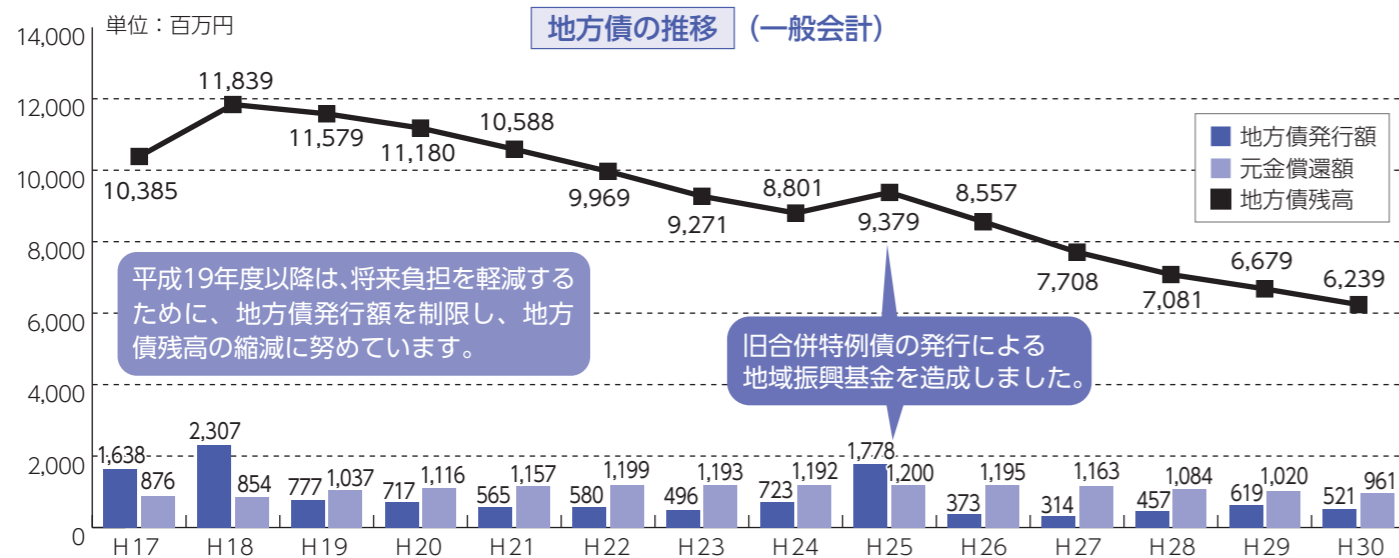
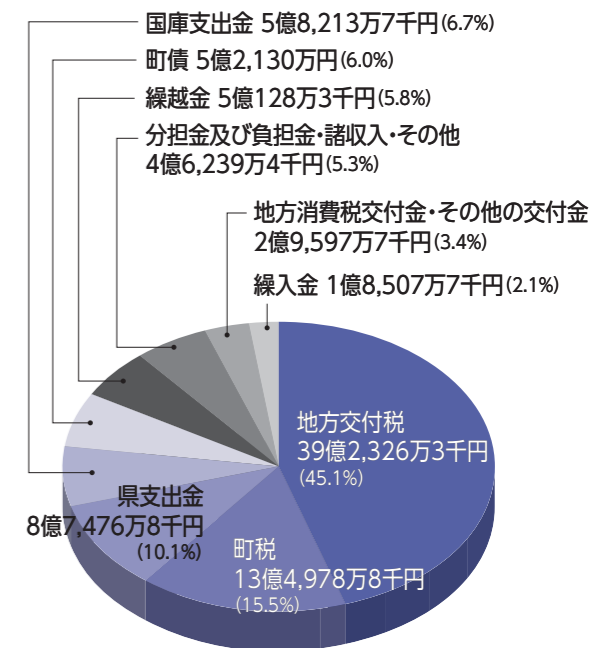
一般会計【歳入】

一般財源である町税は、前年度比3,780万7千円の増額、地方交付税は、2億5,294万7千円の減額となりました。

国庫支出金は、南条第2保育所跡地への町営住宅整備事業（2棟4戸）の実施、除雪施設整備事業の実施などに取り組みましたが、今庄宿プロジェクト事業による大規模事業の終了、河野小学校放射線防護対策事業の終了などにより、国庫支出金は1億5,257万4千円、県支出金は1億4,877万円、それぞれ減額となりました。

繰入金は、イベントや文化振興事業の実施のための基金取り崩しがあつたものの、前年度のコンビニエンスストア一体型整備事業のための基金取り崩し分などが減額となり、4,484万1千円の減額となりました。

地方債では、今庄住民センター整備事業や町営住宅整備事業、除雪機械整備事業など大型事業を実施したものの、臨時財政対策債の発行は見合わせたことなどもあり前年度比9,760万円の減額となりました。



問合せ 総務課 TEL 0778-47-8012